

看護学生の実習指導についてのアンケートのお願い

北海道医療センター（以下当院）では、当院附属看護学生（以下学生）の臨地実習を受け入れています。学生の実習後のアンケートにおいて「コミュニケーションがとれなかった」という意見が多数あり、学生がコミュニケーション能力の不足を自覚し、実習を進めていく上で支障をきたしていることが伺えます。また指導する看護師からも、学生のコミュニケーション能力の低下を感じるという声が多く聞かれています。しかし、指導する看護師の経験年数や看護観の違いから指導方法に違いが出てしまい、学生が困惑する場面があるなど、コミュニケーションの指導については具体的な指導案はなく統一した指導ができていない現状があります。

そこで、当院の看護学生の実習指導における指導行動について調査を行い、今後の指導における課題を明確にするための研究を行おうと考えています。日々、学生指導に関わっている病棟看護師の皆様にも実際の実習指導行動についての自己評価と、指導で困った場面についてのアンケートに御協力をお願い致します。なお本研究は倫理審査委員会より承認を得ています。学生指導にあたってのスタッフを対象とさせていただきたいので、経験年数 2 年目以上の方をお願いしています。H28 年 1 月 16 日～2 月 16 日までの間に記入し、各病棟へ配布した回収袋に投函してください。何かご質問がある場合は 4-3 病棟森山、松谷（内線 4312）までご連絡ください。

アンケートで得た調査結果は統計的に処理されるため個人が特定されることはありません。この研究で得られた結果については、研究発表や学会等で公表されることがあります。しかし、目的以外には使用致しません。参加は自由意思であり、アンケートに協力しない場合でも不利益な取り扱いを受けることはありません。質問用紙記入に 10～20 分程度を要します。質問紙の回収をもって研究協力の同意とさせていただきます。大変お忙しいところご面倒をおかけ致しますが、研究の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

4-3 病棟研究班 森山佳奈絵・松谷沙紀